

＜エコポリスセンター 地域エコロジー講座 詳細メニュー＞

No.	41	主な対象	小学6年生以上向け(あいキッズ、寺子屋など) 一般区民向け(町会・自治会・サークルなど)
タイトル	2050年のいたばしのまちを考えよう(SOE)		
テーマ	地球温暖化、エネルギー、身近な自然、ごみ・資源	形式	講義＋体験
所要時間	1時間半	人数	小学6年生～高校生:10～40名 大学生～一般:10～80名(要相談)
推奨実施時期	通年		
講師・費用	NPO法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲア(無償)	講師派遣数	2～4名
ねらい・内容	<p>■ねらい 地球的規模の環境問題について、今までの100年にどんなことが起きたか、これからの100年はどうなっていくのかを資料をもとにつかむ。いたばしも環境が変化し、緑、水、生きものが減少していること、ごみが減り、二酸化炭素排出量も減少に入っていることに希望を持ち、私たちが住むいたばしのまちを、2050年にどんなまちにしたいか、考えて発表する、</p> <p>■内容 ＜地球上といたばしに起きている問題をつかむ＞ 1.IPCC第6次発表のデータから、世界の温暖化の進行、自然の荒廃、2100年の温暖化予想、海面上昇、森林減少などの現実に関心を高める。海水(色水)の上昇ミニ実験を行う。 2.板橋区の緑・水・生きものの現状を知る。 3.板橋区の二酸化炭素排出の減少傾向、ごみの減少傾向に希望を持ち、リサイクルの停滞、さらにごみを分類、減少させる、水の汚染の横ばいを改善する努力、生きものがすすめる緑と安全な地域を増やす努力など、30年後のいたばしをよくしていく考えを出し合う。 ＜これからの30年後、いたばしのまちをこうしたいという夢と希望を持ち、課題をつかみ、努力目標を持つ＞ テーマ 1.緑と水の豊かなまちの夢と希望 2.温暖化を防止し、環境にやさしいエネルギーを使う夢と希望 3.住み続けたいまちづくりの夢と希望 3つのうちから選んで、グループ内で、夢と希望・そのテーマの現状・そのために自分たちがやることを一人一人がまとめ、短冊に書いて模造紙に貼り付ける</p>		    
依頼元にご用意いただく材料等	①模造紙各グループ分 ②マジックセット 各グループ ③各個人の意見記入用黒サインペン ④掲示用強力磁石 4個×グループ数 ⑤のりまたはセロハンテープ(グループに3つほど)	講師側準備物	講師側が準備するもの ①プレゼン用SDカード ②IPCCなどの参加者用資料 ③ふりかえりカード ④ワークシート2種 (1.温暖化データについて 2. 2050年のいたばしについて) ⑤模造紙に枠線を入れたもの グループ数 ⑥線引き用のさし
依頼元に必要な設備・機材	①プロジェクター ②スクリーン(無ければプロジェクターを投影できる白い布や壁) ③プロジェクター用・パソコン用の台 ④延長コード ⑤HDMIケーブル ⑥作業台 ⑦参加者用机・椅子 ⑧ホワイトボードとボード用ペン	実施場所	室内で人数が密にならない広さの会場(テーブルが広い方が良い)
依頼元必要スタッフ数	参加者20名につき1名(可能な場合)		
打ち合わせ	【対応時間】9時～17時 ・電話かメールで連絡がとれるようにお願いいたします。NPO法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲアのスタッフからご連絡差し上げます。場合によっては直接会場で下見・打ち合わせをさせていただきます。		
その他	講師謝礼につきましては、エコポリスセンターにて負担いたします。 ★確定した【参加人数・班人数】を開催10日前までにご連絡ください。		